

新町ハザードマップ

津波からの避難をメインにしたハザードマップです。

避難の三原則

原則 1

「想定にとられるな」
相手は自然、その想定を超える事態も当然あり得ます。

原則 2

「最善をつくせ」
「ここまで来ればもう大丈夫だろう」ではなく、その姿を見て、ほかの人も避難し、結果的に多くの人の命を救うことにつながります。

原則 3

「率先避難者たれ」
まず自分が率先して避難しましょう。その姿を見て、ほかの人も避難し、結果的に多くの人の命を救うことにつながります。

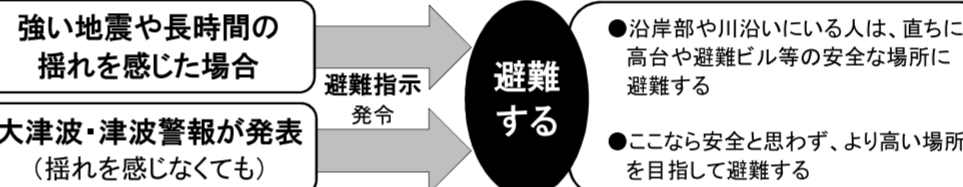
「岩手県釜石市の津波防災教育」より

津波情報と避難

地震のあと津波発生が予想される場合、津波注意報・津波警報・大津波警報のいずれかの津波情報が発表されます。

警報・注意報の分類	予想される津波の高さ		
	高さの区分	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現
警報	10m～	10m超	巨大
	5m～10m	10m	
	3m～5m	5m	高い
津波	1m～3m	3m	
津波注意報	20cm～1m	1m	(なし)

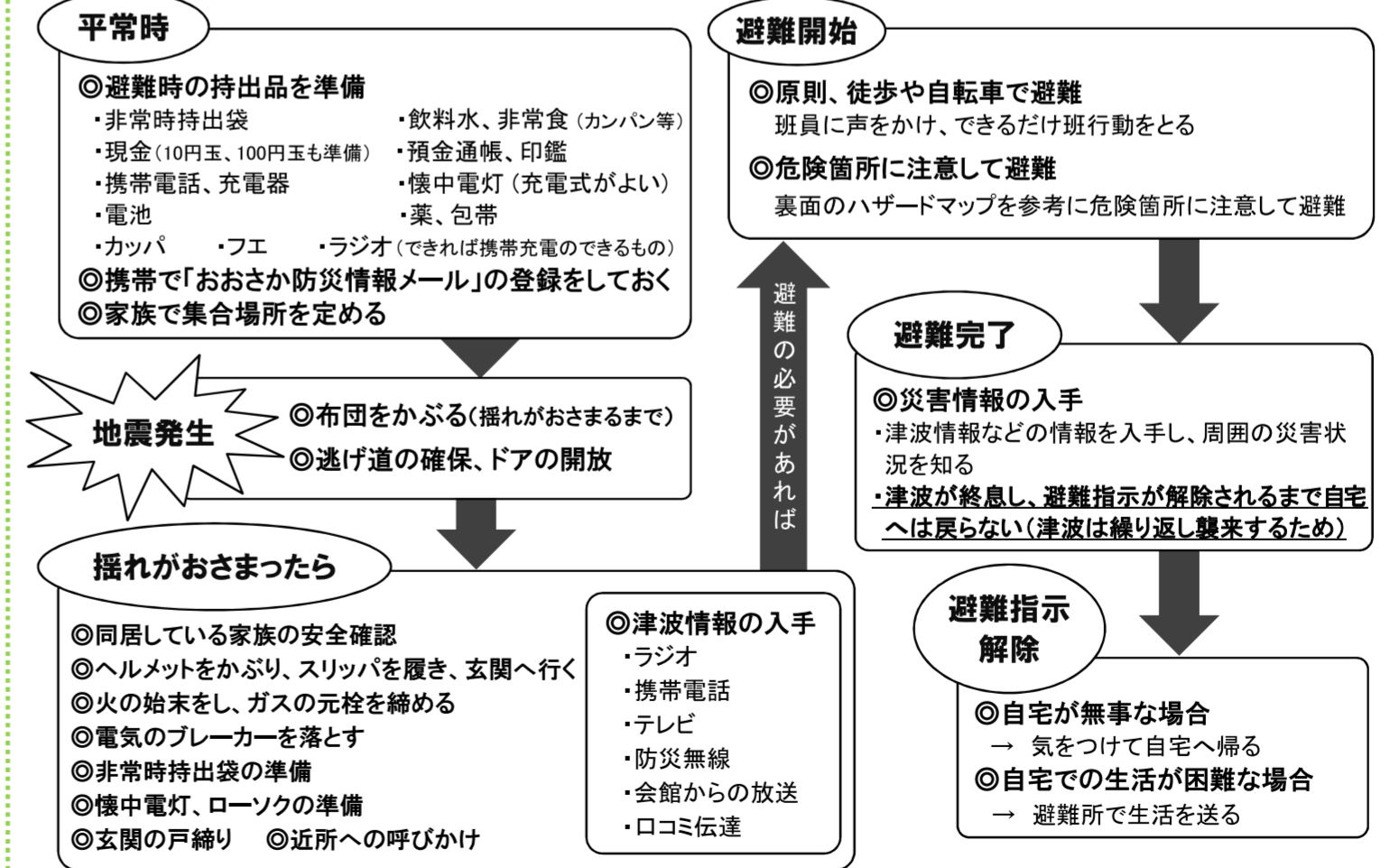
津波警報・大津波警報が発表された場合、市は避難指示を発令します。速やかに避難してください。



※ 左図の「立ち退き避難区域()」に避難指示が発令されます。

津波避難の行動

ワークショップで住民の方が意見を出し合い考えた避難行動です。



津波避難計画

津波浸水想定

津波到達時間 81分

最大津波水位 3.8m

大阪府が平成25年6月に公表した南海トラフ巨大地震による津波の浸水想定を示しています。

津波浸水想定区域

立ち退き避難区域

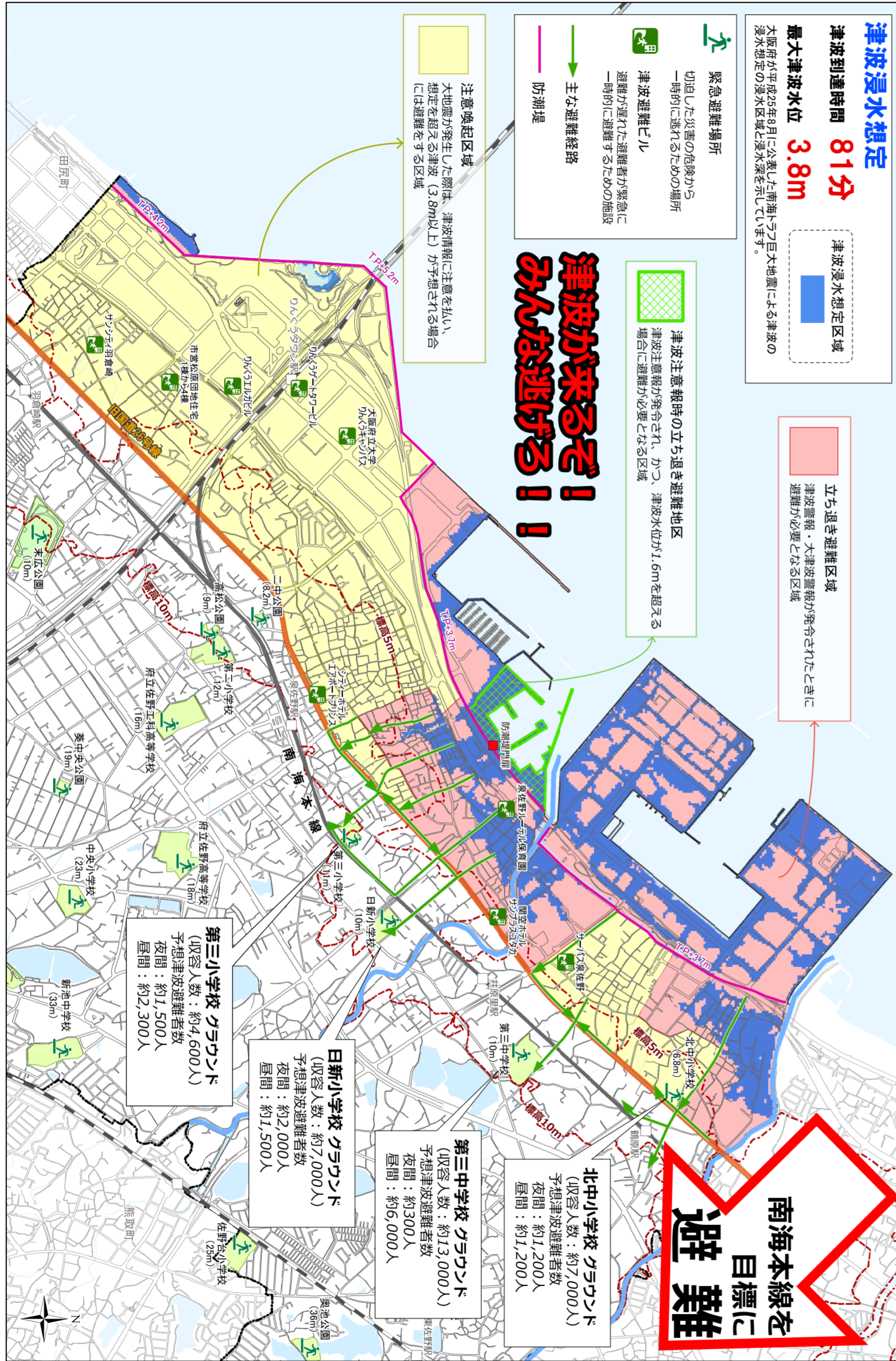
津波警報・大津波警報が発令されたときに避難が必要となる区域

- 緊急避難場所
一切迫した災害の危険から一時的に逃げるための場所
- 津波避難ビル
津波が覆った避難者が緊急に一時的に避難するための施設
- 主な避難経路
- 防潮堤

津波注意報時の立ち退き避難地区
津波注意報が発令され、かつ、津波水位が1.6mを超える場合に避難が必要となる区域

注意喚起区域
大地震が発生した際は、津波情報に注意を払い、想定を超える津波(3.8m以上)が予想される場合には避難をする区域

津波が来るぞ!!
みんな逃げる!!



第三小学校 クラウド
(収容人数：約4,600人)
予想津波避難者数
夜間：約1,500人
昼間：約2,300人

日新小学校 クラウド
(収容人数：約7,000人)
予想津波避難者数
夜間：約2,000人
昼間：約1,500人

第三中学校 クラウド
(収容人数：約13,000人)
予想津波避難者数
夜間：約3,500人
昼間：約6,000人

北中小学校 クラウド
(収容人数：約7,000人)
予想津波避難者数
夜間：約1,200人
昼間：約1,200人





津波浸水想定

津波到達時間 **81分**
最大津波水位 **3.8m**

大阪府が平成25年8月に公表した南海トラフ巨大地震による津波の浸水想定
の浸水区域と浸水深を示しています。

津波浸水想定区域(浸水深)

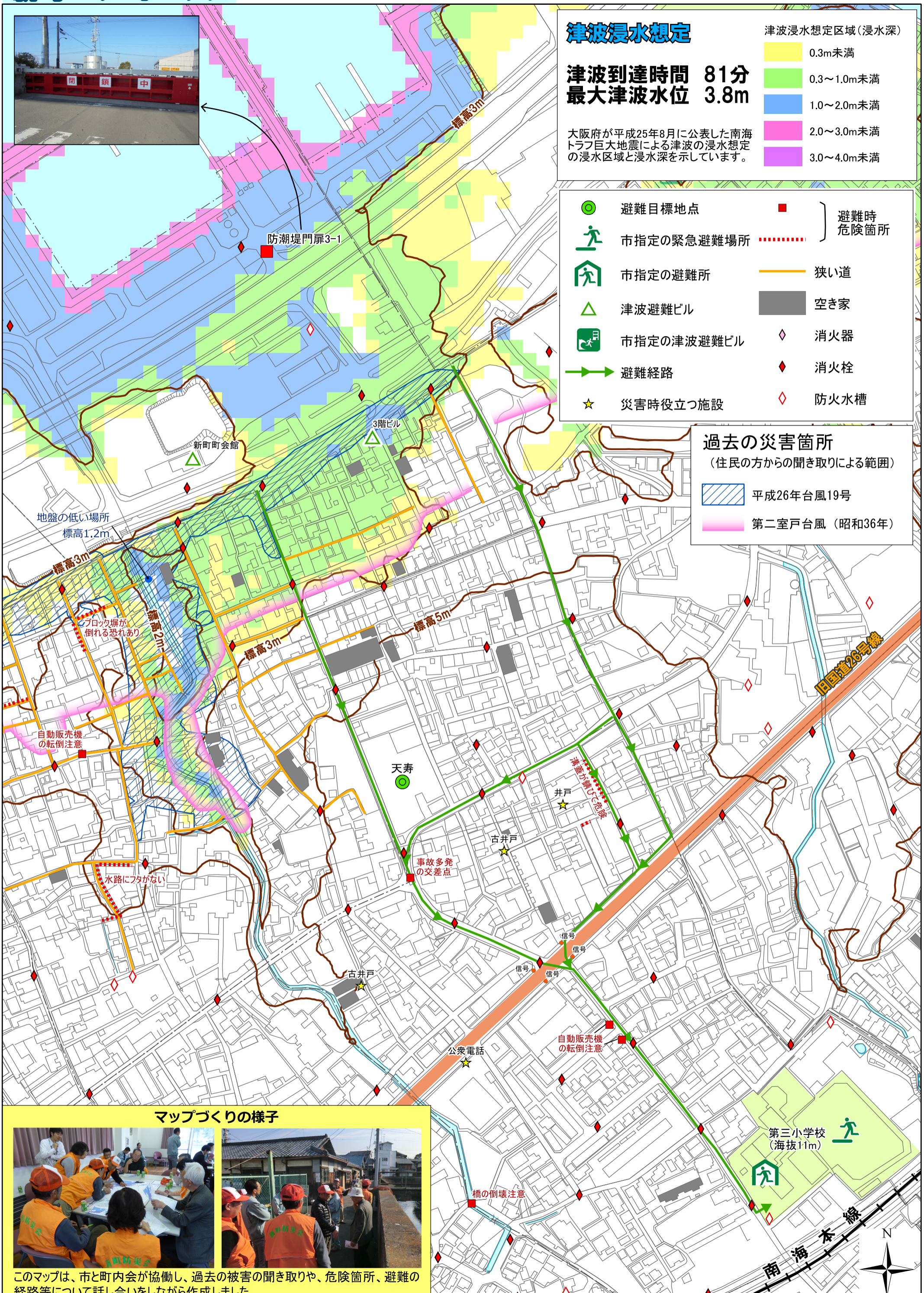
- 0.3m未満
- 0.3~1.0m未満
- 1.0~2.0m未満
- 2.0~3.0m未満
- 3.0~4.0m未満

- 避難目標地点
- 市指定の緊急避難場所
- 市指定の避難所
- 津波避難ビル
- 市指定の津波避難ビル
- 避難経路
- 災害時役立つ施設
- 避難時危険箇所
- 狭い道
- 空き家
- 消火器
- 消火栓
- 防火水槽

過去の災害箇所

(住民の方からの聞き取りによる範囲)

- 平成26年台風19号
- 第二室戸台風(昭和36年)



マップづくりの様子



このマップは、市と町内会が協働し、過去の被害の聞き取りや、危険箇所、避難の経路等について話し合いをしながら作成しました。

第三小学校
(海拔11m)

